むつ市議会だより

題字：石田（いした） 來未（くるみ）さん（むつ☆かつ美術クラブ）



絵：散歩道 / 阿部（あべ） 莉果（りか）さん（青森県立田名部高等学校　美術部３年）

令和７年度決算審査
2ページへ
議会が注目する事業をピックアップ

一般質問
10ページへ
11の視点

議案審査
8ページへ
新たな学びの拠点を整備

議会が注目 令和7年度決算

決算審査

総括質疑

令和7年度むつ市一般会計歳入歳出決算

4億3140万3602円

の黒字

（実質単年度収支）

実績内容

中東情勢に起因する資材高騰や調達の遅延、降雪に対する安全の確保、災害への対応など、取り巻く環境の変化や緊急の財政需要に対応しながらも、危機管理センターの整備をはじめ、暮らしの安心確保や地域の魅力向上など、幅広い政策を着実に進めた。

質疑 Pick up

問 令和7年度の財政運営全体の評価と今決算をどのように総括しているか。

答 予期せぬ財政需要に柔軟に対応しつつ、負債の削減と財政調整基金の積み増しを同時に果たすなど、将来の備えと健全化を堅実に進めた決算と評価している。

問 市税の増収の要因は。

答 個人市民税では、令和6年度に実施された定額減税による減税分の回復により、約2億900万円。給与所得の増加の影響により、約1億4400万円。法人市民税では、市内事業者の増収により、約6400万円。固定資産税では、新規取得した償却資産の増により、約2億1800万円。これにより、約6億2300万円の増収となっている。

令和7年度決算

攻めの予算の結果、むつ市の未来を切り拓くことができたか

決算審査特別委員会（議長、議会選出監査委員除く全議員で構成）を8月31日、9月1日、2日の3日間で開催し、令和7年度決算を審査しました。今号では、決算審査内で出された質疑の一部を紹介します。

その他の審査で出された質疑は下の配信動画からご覧ください。

決算審査の動画はこちらから



審査1日目　審査2日目　審査3日目

むつ市の魅力を全国へ発信！



ふるさとの魅力を届ける

ふるさと納税関連費

5517万2437円

実績内容

寄附をいただいた方にむつ市の特産品をお送りし、地域の産業や企業の魅力をPRした結果、令和7年度は1億2601万4304円の寄附をいただいた。

質疑 Pick up

問 ふるさと納税受注業務委託の内容は。

答 さとふる、ふるさとチョイス、楽天など6つのふるさと納税ポータルサイトにおけるサイト利用にかかる委託料が多くを占めている。サイト利用のほか寄附の都度、決済手数料として寄附額の約10%から20%が委託料として支払われる。ふるさと納税集計サイト利用料、配送サービス利用料も委託料として含まれている。

住みたい街から選ばれる街へ


アゲハと一緒に輝く人材をむつ市は応援します

移住・定住促進事業

787万8180円

実績内容

地域を支える人材の確保のため、首都圏等に在住する大学生等や転職希望者のUIJターン就職を促進したほか、国の移住支援金制度を活用したUIJターン就職希望者等の受入体制の強化を図った。

質疑 Pick up

問 予算額1153万7000円に対して、決算額787万8180円になった要因は。

答 移住された方への支援金制度があり、むつ市移住支援金とむつ市医療・福祉職子育て世帯移住支援金の2種類あるが、申請件数が当初予定していた見込みより少なかったから。

問 この制度の利用状況は。

答 令和4年度が2件、令和5年度が5件、令和6年度が2件、令和7年度が2件となるが、医療・福祉職子育て世帯移住支援金は令和7年度から始まった制度で、2件の申請がある。

横領事案で 残高不足が明るみに



クマ用電気柵の設置に影響があってはならない

下北半島鳥獣被害対策市町村等連絡会議事業

549万円

実績内容

下北半島におけるニホンザルやクマなどの鳥獣被害を防止するため、市町村が連携し生息状況や有害鳥獣の捕獲、電気柵の設置、追い払いなどを実施して、農作物や住民生活への被害軽減を図ることを目的とする。

質疑 Pick up

問 横領事案が発生した同連絡会議だが、貸付金の返済はしっかりされているのか。

答 同連絡会議に対する200万円は年度内に返済されているが、臨時で措置された299万円に対しては、横領事案の影響もあり残金が不足しているため、未済となっている。

問 返済されていない状況に対して督促はしているのか。

答 同連絡会議に対して請求はしているが、口座の残高が不足しているため返済されていない。令和8年度中に一部の返済はできる見込みとなっている。

地域の安心を支える 民生委員



地域の情報共有

民生委員活動費

1076万4877円

実績内容

市内6地区の民生委員・児童委員協議会の活動費補助であり、地域での活動に必要な通信・交通費等、会議や研修などの運営経費となっている。

質疑 Pick up

問 民生委員の各地域での定員数と欠員状況、主な活動内容、また欠員が生じている要因は。

答 定員数は159名に対して、128名が活動している。田名部北地区は定員数30名、欠員7名、田名部南地区は定員数24名、欠員12名、大湊地区は定員数26名、欠員8名、川内地区は定員数15名、欠員4名、大畑地区は定員数26名、欠員なし、脇野沢地区は定員数7名、欠員なし。主な活動内容は地域の困りごとの相談を受けて、市の担当に繋げている。毎月、定例会を開催し情報交換を行っている。欠員が生じている要因は人口減少や少子高齢化と認識している。

ナマコのお引越し 大成功！！元気です！



ナマコも納得の住まい選び

ナマコ増殖場整備事業

6190万80円

実績内容

芦崎湾浚渫工事に伴い、工事着手前にナマコを移設して資源を保護し、移設先のナマコの増殖場を整備する事業。

質疑 Pick up

問 ナマコは無事に引っ越しできたのか。引っ越し先で環境に慣れ、元気に暮らしているか。

答 金谷沢沖に無事に移設が行われている。令和7年度は1トン程度移設され、1匹あたり300グラム程に大きく成長し、元気に暮らしている。

問 増殖場の整備はどのように行われたか。

答 城ヶ沢海域と奥内海域を整備することして、令和7年度は城ヶ沢海域を整備し、今年の春に移植している。奥内海域については、青森県で整備することとなった。

電気柵の 申請→設置までの現状



感 電⚠注 意

天然記念物ニホンザル・カモシカ 食害対策事業

2562万1123円

実績内容

野猿監視人、鳥獣保護管理専門員の配置や、電気柵の設置等を推進し、ニホンザルやカモシカによる農作物被害の軽減を図った。

質疑 Pick up

問 令和7年度の電気柵の設置件数と設置期間は。

答 件数は13件で、設置期間は6月から3月まで行った。

問 電気柵を一番多く設置した時期と、今現在の設置希望件数は。

答 6月から3月の間で、8月の設置が一番多かった。また、現在サル用電気柵の希望件数は18件である。

地ビールの商品化で、外貨を稼ぐ足掛かりに



目指すはむつ市のビールは日本一！

新たな産業による稼げる地域づくり事業

1139万40円

実績内容

ビアエキスポへの参加や国内ブルワリーの市場調査を通じて、設備投資や運営コスト、商品開発事例を整理し、むつ市でのクラフトビール製造・運営の可能性を検討する事業で、観光振興や交流人口の拡大、地域経済への波及を目指す。

質疑 Pick up

問 この事業の財源と補助率は。

答 第二世代交付金を使用していて、補助率は2分の1で3カ年事業として考えている。ただし申請は単年度になっている。

問 調査内容と、調査を委託した事業者は。

答 可能性調査を実施し、クラフトビールの製造販売や流通等について、市場を通じて調査している。また委託先はしもきたツーリズムになっている。

※ ビアエキスポ…全国200社以上が集まる国内最大級のクラフトビール展示会

還元して、市民と事業者を元気に！



流行りにあやかり

キャッシュレス決済ポイント還元事業

3020万514円

実績内容

物価高騰によって消費を控えている市民の生活を支援するとともに、市内事業者の売上・収入確保を支援し、地域内消費を喚起する。

質疑 Pick up

問 市内在住者の消費増加の把握方法は。また、市外への消費流出防止と市内事業者の売上向上はどのように図られたのか。

答 令和7年5月に1ヶ月実施し、令和6年の総消費額と比較すると、前回の約8400万円に対し、2億4500万円と増加し、消費促進効果があったと受け止めている。また、域内利用率は通常約5割程度だが、実施期間の域内購買率が72%であったので、市内事業者で利用したと認識している。

問 決算額3020万円のうち、実際のポイント付与額はいくらだったのか。また、利用が伸びなかった要因をどう分析しているのか。

答 ポイント付与額は、2625万2151円。利用が伸びなかった要因は、原資不足にならないよう補正予算額を設定したためである。

安心・安全で、学習環境の整備



さあ、外遊びへ GO ！！

小学校整備事業（市立小学校遊具更新工事）

544万 5000円

実績内容

遊具の更新工事により、不具合箇所が解消され、児童の学習・生活環境の向上が図られた。

質疑 Pick up

問 工事は何校中、何基の遊具を更新したのか。また、更新対象の基準は。

答 各学校の点検を行い、鉄棒がない小学校もあったため全校に整備。令和7年度は、要望が多かった4連ブランコの整備を苫生小学校と大平小学校に設置した。今後、予算の状況もあるが、1年に２校ずつの設置を考えている。

問 更新の理由として、老朽化だけではなく安全基準が不適合とのことだが、基準を満たさず、使用停止している遊具は何基あるのか。

答 毎年、法定点検を行っているので現在はない。

防災情報をリアルタイムに



最新機器入れて…。

デジタル防災センター整備事業

10億 8001万 862円

実績内容

情報デジタル一元化の環境が整備されたことにより、初動災害対策本部室にて、12 台のディスプレイを連結した大型マルチ映像表示システムを導入し、専用タブレットによる操作で、情報・ドローン映像・Web 会議等をリアルタイムかつ自由に表示・切替可能な環境を構築した。

質疑 Pick up

問 映像音響システム 7608 万円は、災害対策本部室にある機材の整備費なのか。

答 災害対策本部室内にある大型モニターやスピーカー等の機材費用のほか、これらのシステム構築や工事等といった整備全般に係る費用となっている。

議案審査

4 市民生活に関わる議案をPickup

新たな学びの拠点を整備

むつ市教育支援センター条例

議案内容

現行のむつ市教育研修センターが担ってきた機能に加え、児童生徒の多様な学びの場を保障する教育環境の更なる充実を図るため、むつ市教育支援センターを新たに設置するもの。



運用開始は令和8年12月から

問 むつ市教育支援センターの役割は。

答 不登校支援の中核的役割をなすこととなる。不登校の児童生徒が支援員との関わりを通して心身のエネルギーを回復させ、学校復帰に向けてしっかりと橋渡しをする。

問 職員体制はどうなるのか。また、むつ市教育研修センター廃止後の土地・建物はどうなるのか。

答 職員体制は現在の体制を引き継ぐことになる。廃止後の土地・建物は所有者である県と、今後検討していく。それまでは、教育委員会が管理運営を担っていく。

65歳から利用できます

令和8年度むつ市一般会計補正予算（むつ市高齢者無料乗車証事業費 500万円の増額補正）

議案内容

物価高騰の影響を受けている高齢者への支援として、高齢者無料乗車証の対象年齢を現行の75歳以上から65歳以上へ拡充する。

問 対象年齢を10歳引き下げる判断に至った背景は。

答 「ふらっと」において、以前から対象年齢を拡大してほしいというご意見をいただいていた。また、物価高騰が長期化する中、高齢者の皆様が経済的な理由から必要な外出を控えることのないよう、日々の生活を支えるとともに、更なる公共交通の利用促進を図るため、対象年齢を拡大することとした。

問 利用開始時期や申請方法は。

答 10月1日から利用開始する。申請は市公式LINEから行えるが、操作に不安がある方は、本庁舎交通政策課または、各分庁舎にお越しいただければ操作のお手伝いを行う。また、これまでどおり紙での申請も受付けている。

教員確保へ奨学金制度を拡充

むつ市奨学金貸与条例の一部を改正する条例

議案内容

教員不足への対策として、下北地域の小中学校に教諭として勤務した場合の返還猶予及び、免除制度の新設をするほか、貸与額の引き上げ及び、奨学生の選考手続の効率化を図るためのもの。

問 今回の条例改正で、返還猶予は最大で何年間猶予できるのか。

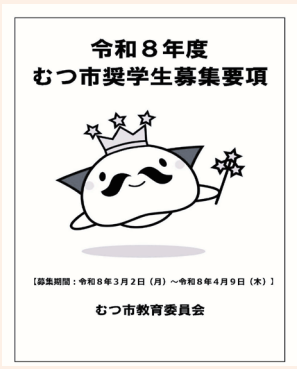
答 下北地域での教諭を目指している限り、猶予を受けることができる。

問 大学・大学院・専門学校等の奨学金の増額は、教員志望者に限らず、全ての生徒が対象となるのか。

答 令和９年度からの月額３万円から４万円への増額については、希望する職種にかかわらず対象となる。

問 奨学生の選考手続きの効率化は、どのような形で行われるのか。

答 現在は応募者が定員を下回っている上、応募者全員が貸与基準を満たしており、結果として全員が奨学生となる状況である。今回の改正では、予算の範囲内で教育委員会が定める人数を超える応募があった場合など、選考が必要となる場合に限って選考委員会を開催することとし、手続きの簡素化・効率化を図る。



意志ある若者に支援を

物価高騰 町内会にも影響が

令和８年度むつ市一般会計補正予算
（むつ市町内会等物価高騰対策支援金
５７５万円）

議案内容

物価高騰による町内会等の負担増を軽減し、地域コミュニティ活動の継続と活性化を図る。

問 この事業の意義は。

答 昨今の物価高騰により、集会所の光熱水費や活動拠点の維持、各種備品の購入が負担となっているので、支援が必要であると判断した。

問 支援金の活用方法は。

答 町内会運営の負担軽減を目的としているので、光熱水費をはじめ環境美化のための備品購入や、地域活動を継続するための経費などとして、幅広く活用していただきたい。

※各議案の議決結果は14から15ページをご覧ください。

一般質問

独自の考えで質問・提案する

11の視点

YouTubeで一般質問の動画をご覧いただけます →



櫻田 秀夫	村中 浩明	井田 茂樹	杉浦 弘樹	高橋 征志	佐賀 英生	佐々木 隆徳	浅利 竹二郎	工藤 祥子	住吉 年広	佐藤 武
P.13	P.12	P.12	P.12	P.12	P.11	P.11	P.11	P.11	P.10	P.10
人材登録制度	文化財の継承へ	海洋科学を未来に	新たな魚種の模索	長時間労働	海洋教育の推進を	桂沢団地の建替を	終の安心を市政に	介護保険制度	未来の健康を予測	自動運転バス

（公明・自由）
すみよし としひろ
住吉 年広 議員が問う

未来の健康を予測



政策提案

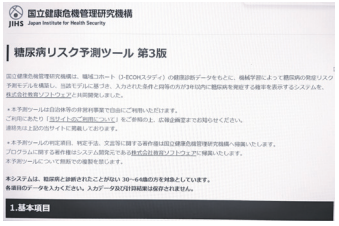
ICTを活用した予防医療の強化を！

Q 当市の国民健康保険加入者における、直近の糖尿病患者数、人工透析患者数、透析医療費について伺う。

A 令和7年度の糖尿病患者数は1290人、人工透析患者数は12人、年間の一人当たりの医療費は、449万7600円となっている。

Q ICTツールの導入に向けた本市の見解は。

A 「糖尿病リスク予測ツール」を市民の皆様に活用していただくことは、糖尿病発症リスクを知り、健康状態や生活習慣病を見直すきっかけとなるため、大変有意義な取組みだと認識している。今後はできるだけ早期に利用できるよう、ホームページ等を活用した周知方法など、導入に向けた準備を進めていく。



健康リスクの見える化

（無会派）
さとう たけし
佐藤 武 議員が問う

自動運転バス



政策提案

自動運転バスは時期尚早、運転手確保に予算を充てるべき

Q 実証運行や本格運行の莫大な経費を考えると、その費用を運転手不足の改善に充てたらどうか。

A 令和6年度から、交通事業者が負担した従業員の第二種免許取得経費の2分の1を補助し、3名の運転手確保につながった。今年度から求人費用の補助も創設した。費用対効果も見極め様々な手法を検討したい。

Q 令和8年度の自動運転実証事業はどのような内容を予定していたのか。

A 令和7年度の実績を踏まえ、10月からテスト走行、11月から冬季間を含む約90日間の実証運行の実施を計画していた。経費として1億9772万8000円を計上。そのうち車両レンタル費用は、約6600万円を見込んでいた。



実証運行事業で約2億円

（無会派）
工藤 祥子（くどう しょうこ） 議員が問う



介護保険制度

政策提案 制度開始から25年以上の教訓を生かし、より良い制度へ

Q 介護保険制度について、当市の現状を伺う。

A 65歳以上の第1号保険者数の増加に伴い、介護サービス受給者も、制度開始時の約2・2倍に増加。加えて、介護サービス需要の高まりに伴い、保険料負担も増加したものと認識している。このため、介護予防の推進が制度の重要な柱となっている。市内事業所では、介護人材の確保が課題であり、そのことが事業所廃止の理由にもつながっていると伺っている。

Q 市の次期介護保険事業計画に寄せられた意見をどのように反映させるのか。

A 介護人材確保に向けた県との連携強化、事業所の経営基盤強化等に向けた支援について、施策の検討を進めていきたい。



制度の柱となる介護予防

（自民クラブ）
浅利 竹二郎（あさり たけじろう） 議員が問う



終の安心を市政に

政策提案 市営合葬墓の整備実現へ

Q お墓を取り巻く社会環境の変化について、市長の認識は。

A 家族ごとにお墓を建立することへの経済的負担に加え、管理していくこともたちに負担をかけたくない、という考え方が広まっている。

Q 市民が安心して人生の終末を迎えることが出来る合葬墓の建立が必要と考えるが。

A 市民アンケートによると、合葬墓が必要または検討が8割、市内の墓地を管理する寺院の意向調査では約7割が必要と回答している。個々にお墓を維持することが困難な現代社会において、今年度「むつ市合葬墓整備基本方針」を策定、令和12年度供用開始を目指す。



予定地の市営墓地

（陸奥未来）
佐々木 隆徳（ささき たかのり） 議員が問う



桂沢団地の建替を

政策提案 今年度改訂する整備計画に桂沢団地の建替を盛り込むべき

Q 今年度改訂する市営住宅の整備計画に、老朽化が進む桂沢団地の建替を盛り込むべき。

A 桂沢団地は当面、修繕等の維持管理に努めることとしているが、老朽化が進んでいることから、今回の改訂において、脇野沢地区の住宅需要や地域の実情、建物の安全性、加えて維持管理を継続した場合と建替等を行う場合のコスト面の比較等を踏まえ、集約・再編及び建替等を含めた整備手法を検討していきたい。

Q 昨年10月で運行を終えた「夢の平成号」の処分は。

A 船舶売買業者から聞き取り調査を実施し、売却の可能性を探っている。また、売却先が見つからない場合の処分費用も検討している。



老朽化が進む桂沢団地

（市誠クラブ）
佐賀 英生（さが ひでお） 議員が問う



海洋教育の推進を

政策提案 海洋教育を推進し、将来的に高等教育機関の設置を

Q 高等学校や高等教育機関と海洋研究開発機構との連携と、今後の市としての方針等は。

A 高等学校との関係ではむつ工業高等学校との連携が進められており、JAMSTECむつ研究所では、漁業者から要望のある高精度な海洋予測に取り組んでいる。高等教育機関との連携は直接的な連携には至ってはいないが、市が持つ豊かな海洋環境を生かし関係機関と一層連携しながら取り組んでいきたい。

Q 災害対策に対応できる井戸の設置は可能か。

A 津波浸水地域外への井戸の設置については選択肢の一つとは思うが、維持管理など継続的な費用と労力が伴うため給水車による支援スキームで対応したい。



海洋推進都市を目指す

（むつの風）
杉浦（すぎうら） 弘樹（ひろき） 議員が問う



新たな魚種の模索

政策提案

代替水産資源を確保するための試験養殖の実施へ

Q むつ湾のホタテ養殖は、現在最大の危機に直面している。漁業者の経営安定と持続可能な漁業の確立に向け、単一魚種への依存リスクを軽減するための代替資源の模索が必要と考えるが、将来性のある資源の試験養殖を実施する予定等はないか。

A 区画漁業権等の関係から、今年9月に県が事業主体となって、川内町漁協青年部がカキの試験養殖を実施する予定である。今回は、補助率10分の10の、青森県ホタテガイ等環境変動対応養殖生産体制導入事業費補助金を活用する。現状、市からの財政的支援は必要ないものと考えているが、事業の進捗状況を注視し、必要に応じて連携を図っていきたい。



カキ養殖への挑戦

（無会派）
高橋（たかはし） 征志（まさし） 議員が問う



長時間労働

政策提案

長時間労働を是正し市職員のワークライフバランス向上を

Q 時間外勤務が、月80時間を超えた市職員の延べ人数は。

A 令和5年度が60人、令和6年度が111人、令和7年度が129人となっている。

Q 時間外勤務が、月100時間を超えた市職員の延べ人数は。

A 令和5年度が24人、令和6年度が68人、令和7年度が64人となっている。

Q 長時間労働の是正に対する課題は。

A 新たな事業に着手する一方で、既存の事務事業の選別とスクラップが進まないことにより、結果として職員の業務量が増加し、時間的にも精神的にも、余裕がなくなることだと認識している。



働き方に余白を

（陸奥未来）
村中（むらなか） 浩明（ひろあき） 議員が問う



文化財の継承へ

政策提案

文化財を後世へつなぐ常設展示施設の整備を

Q 常設展示施設を含めた文化財の今後について伺う。

A 常設展示施設の整備は、文化財の活用を進める上で非常に重要だと認識している。長年の課題となっている具体的な施設の構想策定に向け、他地域の事例収集を進めると共に、未整理収蔵品の調査、整理作業やデータベース化、資料の修復等、将来の公開活用に向け、今できる作業を引き続き進めていく。

Q 必要性について伺う。

A 常設展示施設の整備は、市としても、他地域の事例収集や、収蔵庫のデータ化・修復といった足元の基礎固めをバックアップしていく。規模感については、どういった形が求められているのか、適正なのか、皆さんと議論していく。



青森県二枚橋2遺跡出土品

（自民クラブ）
井田（いだ） 茂樹（しげき） 議員が問う



海洋科学を未来に

政策提案

最先端の海洋研究機関で本物に触れる機会をこども達に

Q むつ市における海洋STEAM学習はどのように取り組まれているか。

A JAMSTEC・弘前大学教育学部と連携し関根小学校をパイロット校に、下北の海岸から砂を採取。地点ごとの違いを比較。顕微鏡で微細な海洋プラスチックゴミが含まれる実態を観察したり、JAMSTECむつ研究所の見学や、研究者との直接交流も実施している。

Q 日本の海洋研究の重要性が高まる中、小・中学校の段階から本物に触れることは、大変重要。どのように実現していくのか。

A 本物の研究現場に触れることは大変重要であり、これまでの成果と課題を踏まえ、一層発展できるよう、JAMSTECや関係機関と協議を進めていく。



ちいさな研究者

使用済燃料中間貯蔵施設に関する調査検討特別委員会（9月9日）

事業者間連携のゆくえは

概　　要

市は、使用済燃料の中長期的な搬入・搬出計画を再考するにあたり、事業者間の連携も含めて検討を進めることとし、まずは事業者から搬入・搬出に係る具体的な案を伺った上で、市としての議論を開始したいとの考えを示した。

この考えについて、8月7日に事業者側へ伝達した旨及び、それまでの経緯について報告を受け、それぞれの委員からの視点で議論が交わされた。

主　な　質　疑

問 市は、事業者間連携について認めたのか。

答 8月7日に事業者に伝達した内容は、市議会での議論、むつ商工会議所をはじめとする地域からの声、国の原子力政策の状況を総合的に鑑み、事業者間連携も含めて、改めて中長期搬入搬出計画を示してほしいと事業者に伝えた。

問 中間貯蔵施設の立地協定や安全協定に、県の判断で搬入を中止できる条文があるのか。また、協定書が存在するのか。

答 県における事業の実施環境判断の仕組みは、令和6年7月に、国と県の双方が確認する仕組みづくりを約束しており、令和7年度分より実施している。また、安全協定では、使用済燃料の安全性に問題があれば、受け入れ停止を求めることができる条項が整備されている。

（公明・自由）
櫻田 秀夫（さくらだ ひでお） 議員が問う
人材登録制度



政策提案

専門人材を災害時に活かす登録・連絡体制の構築を

Q 災害時、専門技能を持つ市民の力を現場で活かす「人材登録制度」のような仕組みを構築する考えはないか。

A 市として、専門的な技能や機材を有する市内外の事業者等との災害時応援協定の締結を重視している。また、地域の防災士や専門性を持つ方々には、それぞれの立場や自主防災組織の中で力を発揮していただけるよう、引き続き連携を深めていく。

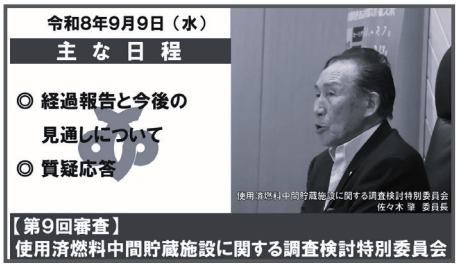
Q 通学路の未対策箇所の即応体制は。

A 警察や市関係部署等と連携し、危険箇所の情報共有をしている。今後は、未対策箇所の早期実現をするため、関係機関への働きかけを粘り強く継続し、連携体制の強化に努めていく。



防災の要

配信動画はこちらから
↓↓↓





9月18日（金）
電力事業者より市に中長期搬入計画の報告があった

議決結果

★ 議案の内容や過去の賛否一覧も議会ホームページから見ることができます。

◎は全会一致、〇は賛成多数、×は否決、－は採決なし

◎ 第269回定例会（全会一致となった議案）

議案番号	件　名	審議結果
67	むつ市教育支援センター条例	◎
68	むつ市長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	◎
69	むつ市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	◎
70	むつ市立学校設置条例の一部を改正する条例	◎
71	むつ市奨学金貸与条例の一部を改正する条例	◎
72	むつ市ひとり親家庭等医療費給付条例の一部を改正する条例	◎
73	むつ市子ども医療費給付条例の一部を改正する条例	◎
74	むつ市景観条例の一部を改正する条例	◎
75	財産の取得について （第1期 GIGA スクール構想において整備されたタブレットパソコンが更新時期を迎えることから、当該機器の一部を更新するためのもの）	◎
76	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて	◎
77	令和8年度むつ市一般会計補正予算	◎
78	令和8年度むつ市介護保険特別会計補正予算	◎
80	令和7年度むつ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	◎

議案番号	件　名	審議結果
81	令和7年度むつ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	◎
82	令和7年度むつ市公共用地取得特別会計歳入歳出決算	◎
83	令和7年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算	◎
84	令和7年度むつ市魚市場事業特別会計歳入歳出決算	◎
85	令和7年度むつ市水道事業会計利益剰余金の処分について	◎
86	令和7年度むつ市水道事業会計決算	◎
87	令和7年度むつ市下水道事業会計利益剰余金の処分について	◎
88	令和7年度むつ市下水道事業会計決算	◎
報17	令和7年度むつ市一般会計継続費精算報告書	－
報18	令和7年度むつ市健全化判断比率について	－
報 19	令和7年度むつ市公営企業会計資金不足比率について	－
報20	令和7年度むつ市一般会計補正予算（除排雪委託料等）	－
報21	専決処分した事項の報告について （和解及び損害賠償の額を定めることについて	－
報22	専決処分した事項の報告について （和解及び損害賠償の額を定めることについて）	－
報23	専決処分した事項の報告について （和解及び損害賠償の額を定めることについて	－

議決結果・賛否一覧／国スポ・障スポ

賛否一覧

◎ 第269回定例会（賛否が分かれた議案）

議案番号	件　名	審議結果
79	令和7年度むつ市一般会計歳入歳出決算	○
請願2	むつ市における「望まない受動喫煙防止」のための分煙施設整備に関する請願	○

賛否が分かれた議案について、
議員別に賛成・反対を公表します。

○は賛成、●は反対、
「欠」は欠席または採決時に不在。
議長（冨岡幸夫）は採決に加わらない。

議案番号等		議決結果	合計			市誠クラブ			公明・自由			自民クラブ					陸奥未来				むつの風				会派に属しない議員		
			賛成	反対	欠席・不在	佐賀英生	野中貴健	佐藤広政	住吉年広	櫻田秀夫	白井二郎	中村正志	佐々木肇	浅利竹二郎	井田茂樹	冨岡幸夫	佐々木隆徳	岡崎健吾	村中浩明	冨岡直哉	杉浦弘樹	濵田栄子	東健而	大瀧次男	佐藤武	工藤祥子	高橋征志
議	79	可決	19	2	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○	○	●討論	●	○
請	2	採択	16	4	1	○	○	○討論	●	●	●	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●討論

国スポ・障スポ安全祈願祭

6月27日に国スポ・障スポ安全祈願祭が行われ、大会の火である「炬火（きょか）」が採火されました。

むつ市議会としても、6月2日より議場を国スポ・障スポ仕様に装飾するなど、議員一丸となって大会を盛り上げていきます。



すべての方が煌（きら）めく大会になりますように

むつ市議会だより No.39 2026.10.26 発行

発行／むつ市議会　作成・編集／広報広聴委員会
▼〒035-8686 青森県むつ市中央一丁目8番1号 TEL(0175)22-1111

委員長：富岡直哉　副委員長：杉浦弘樹
委員：高橋征志・櫻田秀夫・村中浩明・野中貴健・中村正志・井田茂樹

市民の声

大湊高校野球部の誇りを胸に



半田（はんだ） 拓也（たくや） 監督

Q. 母校で監督を務める想いは。

A. 私自身も甲子園を目指しましたが、その夢は叶いませんでした。歴代の監督が築き上げてきた伝統を受け継ぎ、自分が果たせなかった夢を選手たちとともに実現したい。その思いが指導の原点です。

Q. 令和10年度で閉校となる大湊高校への思いを。

A. 率直に寂しい気持ちはありますが、最後まで大湊高校の野球を貫き、諦めずに戦いたいと思っています。礼儀や挨拶、時間を守ることを徹底し、人として成長できる選手を育てたい。また、多くの地域の皆さんや保護者が支えてきたこのグラウンドと伝統が、学校統合後も受け継がれていくことを願っています。そして何より、閉校までに「大湊高校」の校名を甲子園の歴史に刻むことができれば、これまで支えてくださった全ての皆さんへの恩返しになると思っています。



大湊高校野球部

下北から甲子園の夢を叶えるために



澤谷（さわや） 将向（まなた） 主将

Q. 大湊高校で野球を始めた理由は。

A. 父が大湊高校野球部の出身で、甲子園を目指しながらその夢を果たすことができませんでした。その思いを受け継ぎ、自分が甲子園へ連れて行きたいという一心で入部しました。

Q. 今後の目標を教えてください。

A. 大湊高校が長年掲げてきた「下北から甲子園」という目標を実現することです。練習中は仲間同士で声を掛け合い、互いに高めあっています。練習後には、その日の練習が甲子園につながる内容だったのかをみんなで振り返り、一日一日を大切に積み重ねています。「大湊高校」という名前を甲子園に刻みたい。その思いはチーム全員が共有しています。キャプテンとしては、チームワークを第一に考え、仲間を盛り上げながら、全員で夢に向かって挑戦していきたいです。

取材者：富岡直哉、村中浩明

7月26日 心を一つにキャッチ、ロー！！



令和8年7月26日、大会および青の煌めきあおもり国スポ・障スポを盛り上げるべく、「第28回まさかりレガッタ」に議員有志（クルー名：むつ市議会DX）で参戦してまいりました。結果は…

編集後記



むつ市でも「青の煌めき国スポ・障スポ」が開催され、選手の皆さんへの声援とともに、熱戦が繰り広げられました。全国から訪れた選手の皆さんに、むつ市の魅力を感じていただける大会になったのではないでしょうか。（村中 浩明）

↓むつ市議会の情報はこちらから↓

ホームページ　YouTube　LINE　Facebook　Instagram

NEWS FROM MUTSU CITY COUNCIL

次回の定例会は11月26日開会予定です